

問 市役所の労働環境の維持について

(1)職員の労働環境を良好に維持すべく、どのような活動、対応を続けているのか。(2)現在までのハラスメントの相談件数は。また、ハラスメント防止の為の研修の状況とその効果は、どうなっているか。

答 能力発揮できる労働環境を保持していく

(1)ハラスメントの防止等に関する規程を制定するなど体制を整え、全職員を対象とした研修を開催した。(2)これまでに相談はない。研修ではハラスメントの具体例により知識を吸収でき、参加職員の約98%が今後の業務に生かせる旨を回答している。



加藤一生 議員
(新風の会)

問 職員採用に対する今の市の対応は

(1)当市を希望する公務員志願者の状況は。(2)来年度の新規職員の採用に対する市側の採用活動状況はどうなっているか。(3)これから将来に向けて、採用活動を含めた市としての職員構成・体制をどのように考え、計画していこうとしているのか。

答 創意工夫を凝らして取組を進めている

(1)増加傾向である。(2)採用動画の作成やインターネット受験申込の開始など創意工夫を凝らして取組を進めている。(3)多様化・複雑化する行政需要に対応できる人材を確保するため、民間企業経験者採用や研修等による計画的な人材育成を行っている。



問 第6次総合振興計画「構想案」について

第6次総合振興計画の構想を描くに当たって、押さえるべき重要な3つの前提条件が抜け落ちている。「市民ニーズ」「白岡市の強みと弱み」「財政事情」をきちんと踏まえた上で、まちの将来像を描くべきと強く指摘した。検討結果について伺う。

答 基本構想に掲載する方向で検討する

基本構想を作成する上での基礎資料となる「市民ニーズ」「強みと弱み」「財政事情」については、まちづくりの基本課題や政策目標とのつながりが分かりにくいという側面もあることから、基本構想に掲載する方向で検討する。



石渡征浩 議員
(TSUNAGU)



しらおか味彩センター

問 現有資源の有効活用について

限られた財源の中では、小さな投資で、いかに大きな効果を生み出すかの観点が重要。白岡宮代線の県道春日部菖蒲線までの開通に合わせ、現行のしらおか味彩センターを核にして、道の駅（道の駅的な施設）を整備してはどうだろうか。

答 効果的な施策を調査・研究していく

しらおか味彩センターを核とする、道の駅やこれに類する施設の整備については、白岡宮代線の整備との相乗効果により、「元気の出る商工業の白岡を創る」ための事業の一つとなりえる。地域活性化等の効果的な施策を調査・研究していく。